

ごあいさつ



平素より気仙沼信用金庫に対しまして、格別のご高配を賜り、厚く御礼を申し上げます。

ここに、当金庫の経営方針や業務内容、財務内容をはじめ、東日本大震災からの復興へ向けた各種取組みをご理解いただくため「気仙沼信用金庫ディスクロージャー2020」を作成いたしましたので、ご高覧頂ければ幸いです。

さて、早いもので東日本大震災から9年の歳月が経過し、まもなく10年の節目を迎えようとしております。

当地域では、昨年、念願でありました大島架橋の開通や三陸縦貫自動車道の延伸、東日本大震災遺構、新魚市場や国内屈指の設備を有する造船所の落成など、インフラ整備が大きく加速するとともに、観光客の増加が見られるなど復興を実感できるようになりかけてきました。

然し、その矢先に世界を恐怖に巻き込んだ新型コロナウイルス感染症が発生し、感染が拡大するにつれ国内において地域経済を直撃し、観光業や飲食業をはじめとして、ほぼ全ての業種で苦しい経営を余儀なくされる事態となっております。

当金庫といたしましては、本年3月初旬から相談窓口を全営業店に設置するとともに、キメ細やかな訪問活動、電話相談を実施し、個々のニーズに即した融資商品や各種制度融資を積極的に斡旋することで、取引先皆様の支援に努めて参りましたし、今後も継続して金融の円滑化に努めて参ります。

震災以降に地域支援の一環として取り組んで参りました事業の中で、本年に入り東京東信用金庫と連携した「地産都消プロジェクト」が、一般社団法人全国信用金庫協会の総会において「社会貢献賞」を受賞いたしました。

また、「地方創生に資する金融機関等の特徴的な取組事例」として、「みしおね横丁」の構想から設立まで支援したことが高く評価され、「内閣官房まち・ひと・しごと創生本部」から大臣表彰を受け、2年連続での受賞となりました。

このような取り組みは今後も継続し、一層の地域貢献に努めて参ります。

2020年度も新型コロナウイルスの影響から厳しい地域経済環境が予想されますが、震災から10年という節目の年にあたり、震災で全壊した内の脇支店・高田支店・大船渡支店の店舗再建に取り組み、お取引先皆様方の利便性向上に努めるとともに、従前にも増して行政や商工会議所との連携を密にして、金融の円滑化、積極的な金融仲介機能を発揮し、「地元を育て、地元で伸びる」の経営理念のとおり、地域経済の繁栄に寄与して参る所存でございますので、一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げご挨拶といたします。

2020年7月

気仙沼信用金庫
理事長 菅原 務

